



第399回 定例セミナー

社内を動かすCSR担当者の 役割と醍醐味

～地方創生に活かす文化芸術支援のあり方を探る～

近年、CSR活動への取り組みが進み、国内外でNPO/NGOの活動を支援したり、従業員のボランティア活動を促進したりする動きが、各企業で見られます。しかし、従業員がそうした活動を自分のこととして引き受け、自ら参加機会を探すといった、自発的に動く事例にまではなかなか至らない現実があります。今回のセミナーでは、松下電器産業（現パナソニック）で早くからメセナ・フィランソロピーを担当し、のちに同社常務取締役を務めたあと、今は小豆島でアートの振興と地方創生に注力する石井純さんに、社内のCSR活動を活性化させる意義や秘訣、その面白さを語っていただきます。奮ってご参加ください。

<講師>

いしいじゅん
石井 純さん

小豆島アートプロジェクト代表



<プロフィール>

1979年神戸大学経営学部卒業。松下電器産業（現パナソニック）入社。自動車機器営業、メセナ・フィランソロピー担当、経営企画室長を経て2006年役員就任。国内家電販売会社社長、渉外本部長、人事、コンプライアンス等を担当し、2018年6月常務取締役を退任。「小豆島アートプロジェクト」を立ち上げ、「瀬戸内国際芸術祭」に参画。現在、さらなる地域活性化を図るとともに、世界に向けて芸術文化を発信中。

2022.10.17(月)

15:00～17:00 (14:50 開場)

《開催形式》 オンライン

《参加費》 5,000円 (当協会会員：2,000円、学生：1,000円)

《お申込み》 <https://www.philanthropy.or.jp/seminar/399>

または右下のQRコードからお申込みください。

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244

TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

<https://www.philanthropy.or.jp>

